

卒業式式辞

高知の地に春の訪れを感じる中、令和4年度の卒業式ならびに専攻科修了式を迎えることができ、嬉しく思います。ソーシャルデザイン工学科123名のみなさん、卒業おめでとうございます。そして専攻科 ソーシャルデザイン工学専攻 14名のみなさん、修了おめでとうございます。

本校に入学してから今日の日まで、温かく見守ってこられました保護者のみなさま、お喜びもひとしおのことと存じます。誠におめでとうございます。

また、日頃から本校の教育・研究・地域貢献活動を通じて、学生を暖かく見守って頂きましたご来賓の皆さまには、お忙しいところご臨席を賜り、教職員ならびに学生にとってもこの上ない喜びであります。本日、優秀な学生を社会へ送り出せることになったのも、平素から地域の方々のご理解とご支援があったからこそと深く感謝しています。

さて、今年度も昨年度と同じく新型コロナウイルス感染症への対応が大変な年でしたが、“学校へ通学する意義”は、友と交わることであり、“学校教育の本質的役割”は、時間と場所を共有することと考え、できるだけ対面授業を行うようにしました。

学校のイベントは思うようにいきませんでした。クラスマッチは中止し、学校祭は学外には制限付きで開催しました。

コロナに振り回されていますが、学校で身につけてほしい一番のことは、『生涯にわたって学びを続ける』という意識を持つことです。これからも、どのような学びの形態になろうとも、自ら学ぶ姿勢を持ち続けてください。

さて、卒業生・修了生のみなさんが踏み出して行かれる社会は、技術や情報が急速に高度化・多様化し、ダイナミックに変化する Society5.0 の社会です。この変化に即応できるよう、幅広い分野の知識・技術に触れ、その知識・技術を複合・融合できるハイブリッド型の人材として、みなさんを育成してきました。

具体的には、複数の専門基礎力を身につけることを目指してきました。理論も技術も頭だけの理解ではなく、使えるところまで身につけることを目指し、みなさんは、その目標を達成されました。

次に何が起こるか予測できない世の中で、この「基礎を身につける」ということが重要になってきています。この時代を切り拓き、イノベーションを起こせるのは、学んだ理論と技術を柔軟に応用できる人です。応用できるためには、基礎が身につけていなければなりません。基礎を身につけるために、頭だけの理解ではない、実験・実習などの様々な経験を通して、使えるための理解に努めてきました。

教育・人材育成のあり方を検討している政府のワーキンググループでは、「Society5.0 実現に向けた教育・人材育成」として、複数の異なる専門分野を同時に主専攻(メジャー)として学ぶ「ダブルメジャー」や、バランスの取れた文系と理系の学びの必要性を強調しています。

この議論の中のダブルメジャーの考えは、本校が学科再編により取り組んできたことです。

また、IT社会とグローバル社会に適応した人材育成として注目されたSTEM教育に、リベラルアーツ的な素養として文系の発想が求められ、Arts が加えられてSTEAM教育が提唱されています。つまり、我々には文系・理系、両方の知識・技術をバランスよく身につけることが求められています。

卒業・修了後も自然科学ばかりでなく、人文・社会科学も含めて、多様な“知”を獲得するように、自分から動いてください。

また、社会の課題に気づき、その課題を工学的な視点で解決するため、専門の異なる学生がグループを組み、培った知識と技術を持ち寄り、チームで課題を解決する社会実装教育を通じて、「学んだことを実践で使う力」、「考え抜く力」、「話す力と聞く力」を鍛えてきました。

社会に出て必要な力を高専在学中から実践しておこうという狙いです。この実践を通して、使える知識・技術を身につけてきました。

みなさんは今、自分の専門分野で少し太くなった幹をもつ「若い木」となって卒業・修了していきます。今後は、自分の専門の幹をもっと太くして「高い木」になるとともに、「若い木」のときのしなやかさを忘れず、そして、たくさんの他の分野の「枝」を付けて、人とは違う「面白い木」になるよう、自分を鍛えてください。幸い、みなさんは複数の専門を学んできていますので、在学中にこのことを経験されてきたと思います。これからも、他の分野に積極的に関心を持つようにしてください。

みなさんは、基礎を身につけ、学んだ理論と技術を柔軟に応用できる人として、イノベーションを起こす素地が十分にあります。自信をもって社会に乗り出してください。そして、常にそのとき取り組んでいる仕事を全力で行ってください。

さて、めでたく137名の学生諸君が本校を巣立っていかれますが、この高知高専の地で築くことができた同級生の結びつきを大切にしてください。社会に出てもお互いに支え合い、生涯を通じての友達でいてください。また、学校へも顔を出して、話しをしに来てください。待っています。

これからみなさんが世界で活躍され、悔いのない素晴らしい人生を歩んでいかれることを祈念して、私からの式辞といたします。

令和5年3月15日

高知工業高等専門学校長
井瀬 潔